

GKTF

人



四二一九 陸三三三〇 陸丁〇六一五 (〇九六九〇) 作

- 第二南進隊各隊
- 東京進隊、四、五各連隊、南西方面部隊各戸

陸密第一九一三四五番電

通達 聯合艦隊司令長官 軍令部議長 第一航空艦隊司令長官

中樞太平洋方面艦隊司令長官

東部部隊司令官 作第二三二五號

東部部隊司令官 作第七三三號及後發南西方面

部隊司令官 作第二三〇號ニ依ルノ外左ノ通りトス

一、各部隊ハ固有任務ヲ履行スルニシテ

二、飛行機ハ命令ニ依ル

一三三〇七 陸一A (五九〇五) 二十一通 海軍

第... 號

218

GKT



陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍少将

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍少将



- 第二南滿洲軍管区司令官
- 東 滿・西 滿・北 滿・南 滿 方面 陸軍 司令官

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍少将

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍少将  
 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍少将  
 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍少将

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍少将

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍少将

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍少将

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍少将

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍少将

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍少将

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍少将

海

軍

第五十號

219

印

丁  
事

親展

四一九

受  
丁始價

二二〇八  
一〇三〇〇八

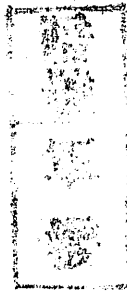
(〇九五五九)

作



大海軍一部

第一機動艦隊司令部・中部太平洋方面艦隊司令部



機密第一九一六五五番電

發 日 參謀長

一五〇〇機密第一八二二三三番電

密分ノ間一一日五時一五〇〇二編入ナルル内蓋ナシ應付員承知致度。

一三二二九

目二八(一九九〇〇〇)海軍

軍

第九十課

220





急 歴

三〇

三〇

三〇

三〇

三〇

三〇

三〇

三〇

三〇

三〇

三〇

三〇

三〇

大正三

大正三

東京市本町三丁目

第三〇九(一)

丁

丁

丁

丁

三〇

三〇

三〇

三〇



第十信課

221



大東亞航空郵便

職員

四二一

受給

〇〇〇  
六五三  
三四五  
〇五〇

〇〇〇  
三三三  
三三三  
七六五

作

第十  
編



● 大本 營・聯合監隊下・南西方面監隊下  
● 南西方面監隊各戸・一南連隊各戸・二八統隊下・八連隊下

機 密 第 二 一 〇 〇 一 三 番 號 三 分 ノ 二 三 三

發 一 一 五 長官

通報 子ウ・レン・タン各隊團長

北部 空襲情報並ニ所見

一機

コクラン

十九日〇九二〇三・一〇五五ニ巨量敵機上機合計約一〇〇機<sup>十</sup>及<sup>ノ</sup>  
コクラン<sup>ノ</sup>取地機ニ奈機地上砲火ニ依リ十機撃墜（内二不確實）我方方人死  
傷<sup>十</sup>若干ノ被害アリ

MEMO・MEMO・MEMO

機密A) 四五九七五四(中)

軍

223



人

日

第十卷

一〇三五第八空襲部隊ノ進攻六機 ▲西方敵機攻撃（雷雲進出阻挫  
 二〇〇機）發進内三機集敵機先機附近ニテ「ヒ」遠退後消息無キ  
 敵直撃機ニ連想セルモノト判断 敵部隊ノ概位ハ十九日一三〇〇頃  
 サバンノ二七〇度二五〇度附近ト推定爾後敵機情ヲ得ズ  
 三所 見

(4) 敵機空母艦（米英何レナルヤ不明但シ搭載機ハ米海軍機）ハ二隻  
 以上ト推定 ▲西方二〇〇度附近突入セルモノト既ノラル  
 潜水艦ヲ ▲近海面ニ面シ不時着機ノ收容ニ任ゼンメント試ミタ  
 ルハ特異ノ點ナキ

(5) 敵企圖ニ對スル判断

(1) 太平洋方面及<sup>セル</sup>方面作戦ニ對スル牽制

(2) 西正面及反攻ノ前線トシテ主要航空艦隊航空兵力ノ確保及維持  
 ノ進路

海

軍

224

(甲) 我方航空兵力増進ノ進展ニ乗ズル奇襲

(乙) 西方正面我航空兵力ノ増進ヲ察知セシムル北部隊方固強要ヲ反撃スル

算ナリ

(丙) 空襲効果ノ果積ヲ圖リ然ル後上陸作戦ヲ企圖スルノ算アリ

(丁) 西方正面航空兵力ノ充實ヲ急務ト認ム

第百五號

海軍

225



47

人事

第三時階級表

緊急

三一

受了始信

六五三  
〇二〇  
〇〇〇

〇〇〇  
五五五  
一四一  
八七七

一人令航  
事・航  
本

● 五七 基地  
● 東通・四通・五通

● 春島 基地

機密第二一〇一五〇番電 三分ノ二二三

發 二二三 P 司令官

宛 一 A P 參謀長

通報 T Y P 參謀長・大海參一部長

貴機密第一九一一三〇番電返

最近ノ敵基地航空兵力ノ増強ニ伴ヒ擔任區域各地ニ對スル空襲強化及  
敵機動部隊ノ策動ニ當面シテ豫備兵力戰闘機隊現有兵力ハ P P ノ防備

一三三三三・一三三〇〇・一三三〇六

呂二A(二〇五R)五通

海

軍



第電十信  
課課

P O . P T M 緊急輸送 P R 基地造成ノ掩護ヲスラ尙不足ノ情況ニアリ  
 從ツテ P T M ノ基地強化並ニ確保ノ必要ヲ認メ乍ラ貴隊兵力ノ援助ニ  
 依頼シ居ル現状ニシテ當隊トシテハ機材ノ急速補充並ニ三〇一空ノ進  
 出ト聯合セ P T M 派遣ヲ考慮シアル次第ナリ  
 貴電ノ通機材補充ヲ得バ當隊搭乗員ノ實情ヲ以テ P T M ニ一六機程度  
 ノ派遣可能ナルモ前記 P O . P T M . P R 二對スル掩護ノ問題ハ現情  
 勢下當分ノ間苦シクモ遺繰リチ行フノ外途ナキコト了解ヲ得度  
 尙一メレヨソ一基地ハ當方面重要戰略據點トシテ有ラユル困難ヲ克服  
 シテ之ガ擴充強化ニ努ムベキハ異論ナキ所ナルモ其ノ地勢的特質ニ鑑  
 ミルトキハ今後尙相當ノ防備強化ヲ圖ラザル限り防禦ノ脆弱性ハ遠ニ  
 之ヲ覆ヒ得ザルモノアルコト明カナルヲ以テ同ジ最前線基地ト稱スル  
 モ同基地ノ使用方針ハ P T M ノ夫レト自ラ差等ヲ附セザルモカザル  
 考ス仍ツテ當隊トシテハ同方面ノ配備ノ兵力ハ陸攻隊戰團機隊ノ如何

電信課  
第十課

海軍(二)

第十課

予問ハズ本據ヲモ後方基地ニ置キ同基地ニハ所要時所要兵力ヲ配備シ  
 テ以テ作戰目的ノ達成ニ遺算ナキヲ期シ度キ意向ナリ  
 右後方基地ハ旁々最前線基地ノモ保有シ後方基地ヲ有セザル當隊補給  
 訓練上ノ要求ヲモ併セ充足セントスルモノニシテ左ノ順位ニ專有一基地  
 地ヲ欲ス何分ノ考慮ヲ得度  
 第一候補 大宮島  
 第二候補 サイパン。

海軍

228









KAF

第三暗親展

人事

局長 課長 局長

等并 王勇

四二二

受信一九五〇  
譯始一九〇〇

譯了 一九五〇

一九五〇

特

聯合艦隊中

大海第一方面艦隊中  
一水雷戰隊 中部太平洋方面部隊

機密第二二二〇八番電

發第一機動艦隊參謀長

大海機密第二二二〇五一番電閣聯

第一機動艦隊八五月中旬以降敵潛水艦ノ集中ヲ予想

セラルル海面ニ於テ敵機動部隊ノ捕捉撃滅ヲ期スル所

多數母艦群又補給部隊ノ警戒艦ノ不足甚シク特ニ

水上部隊ヨリテ戰場整理ヲ要スル時ニ於テ然リトス之ガ

一四〇五九

呂回A(一七四九〇K)

海軍

230



爲第十一水雷戰隊、早霜、外第六驅逐隊及霜月、秋霜、  
 極力第二航空戰隊、第三航空戰隊、日、以、示、以、上、共、三、連、去、第、一  
 機動部隊、編入、少、ク、ト、モ、警、告、我、艦、ノ、不、巨、ク、補、コ、ト、ニ、取、計、ヲ  
 得、度、右、警、戒、艦、ハ、當、地、ニ、派、遣、ノ、要、至、決、定、ノ、要、モ、下、リ  
 大、至、急、返、尚、大、鳳、ハ、引、渡、後、二、十、日、ニ、シ、テ、作、戦、任、務、ニ  
 就、ケ、ル、實、例、モ、下、リ、秋、霜、霜、月、當、由、艦、隊、編、入、ノ、上、ハ、警、告、我  
 艦、ト、シ、テ、急、速、練、度、向、上、ニ、自、信、了、リ。

電信課 第十課

海軍

233



0244

TYF



四 一二受信二五二〇 譯丁一七〇〇(二二〇六二)作・運輸

電話一六五〇



大東第一隊・大東第二隊・...



電話三三二二五三

Main body of vertical Japanese text, likely a report or official communication.

一五九八八 五九八八一〇〇九三三三三三

海軍

軍

第十信課

234

後送)

一、差當り第四艦隊幕僚ノ所要數ヲ殘作戰ニ支障ナカラシム  
 二、第四根拠地隊軍醫長及主計長ハ第四十一警備隊ヲ主務トスノコトニ  
 取計ハシ度。

第十  
號

海

軍

236

KLF

第百十課

五、四、三三

〇〇〇六  
〇〇〇〇  
〇三三七  
東通  
談  
始

(三二八)

第百十課

着 GP 仰口大海

機密第一三三〇番電

第一機動艦隊參謀長

GP機 第一三三二番電

一方面所出第一機動隊 實力動兵力零

戰七の替星六の天山四の

二右其力の晝間機動隊可能、練度ニ

達ニアルモ以テ敵、躍進上陸等以緊急ノ要

アルニ至ラバ寧テ口機動隊實力ノ安負施セシムル

ルヲ有利ト認ム

一四三三三 四四四 四三三三

軍

237



右の場合ハ、玄洋丸國海丸鶴見ヲ當艦隊補給  
 専用スルニ付、受令後、操子十日ヲ以テ、P方  
 面ニ於テ、作業可能ノ見込  
 (基本作業場、場合を略同時機作業可能)  
 三浦艦隊トシテ、一機、二機、三機  
 合全方作業ヲ行フニテ、ラリ、ト、大局ノ制スル  
 困難ナリト認メ、アルヲ以テ、緊急事態ニ生起  
 セザル限リ、既定方針ヲ堅持スルヲ可ト認ム。

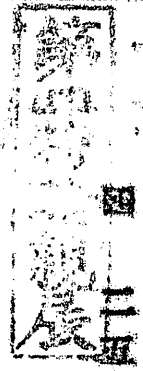
保保

海軍

238



GF



受領了  
一  
二  
三  
四  
五  
六

(一二七三五)

作

第六艦隊

大海軍一部・中郷太平洋方面艦隊

海軍第二五二一七二一番電

聯合艦隊參謀長

六〇機密第二四〇五〇〇番電

作戦本部ハロ機密第二三一二三二番電ニ拘ラメ決定送實施セラル

内閣ニ付研究準備ヲ進メラレ度

尙作戦名ヲ「浪巻作戦」ト改メラル

一六一六七

海軍第一連軍

第電  
十五  
線課

239

TYF

局長  
課長  
司員

石川  
男  
第...  
第...

第... 二六

了給...  
一〇〇  
〇〇〇  
二五四  
〇〇〇

二二九九  
二七八三



● 第一...  
● 大...  
● 大...  
● 大...

時...  
機...

... 二五一九〇〇... 二分ノ二

... 出... 二... 者... 係... 給... 見... 込... ノ... 通... (但シ... 交... 涉... 申... ノ... 新... 聞... 屬...)

... 定... 令...)

... 五... 月... 十... 日... 以... 前... 會... 同... 可... 能... ノ... 石... ノ... 總... 見... 清... 洋... 丸... 計... 一... 七... 〇... 〇... 圓...

... 五... 月... 十... 三... 日... 頃... 會... 同... 見... 込... ノ... 石... ノ... 國... 洋... 丸... 支... 洋... 丸... 總... 見... 丸... 計... 二... 七... 〇... 〇... 圓...

... 年... 行... 動... 上... 協... 定... 額... 更... 要... 該... ノ... 石... ノ... 給... 取... 内... ノ... 要... 額... 通... 〃... 實... 現... ノ... 結... 合... ノ... 合... 同... 見...

一六三六八、一六三三七 區三人(五五八五)五通

海 軍

240

込期日

(1) 五月十六日頃（十日頃）萬葉丸 桑那丸 吳川丸計二〇〇〇〇題

（興川丸ハ先航裝置計一〇〇〇〇題計）外ニ新國當豫定船 日

邦丸 二洋丸計二〇〇〇〇題

(2) 五月二十日頃（五月十五日頃）速吸 日美丸計二〇〇〇〇題（速

吸ハ特務艦ニ付日美丸ト同能力アリト豫定）

(3) 五月下旬（五月十五日頃）新國當豫定梓丸 建川丸 ミリイ丸計

三萬題

以上各方面當分補給ヲ止メ戰況ニ依リテ 且各方面補填ノ要アルヲ以テ右ノ内待機艦仲給進備完了セバ復給ノモノヲ以テ舊積艦隊在庫燃料ノ補填定當豫定。

海軍

第百十號





倉庫

課長



主任



第十部

四二六

陸軍部一三四五

陸軍部一三二〇

陸軍部一三〇〇八

陸軍部

三一陸軍部

陸軍部



大正十二年五月五日

陸軍部一三〇〇八

三十一陸軍部

七月一日

陸軍部

Handwritten: Ho R...

Handwritten: AC

Handwritten: 21

一六五三七

陸軍部一八五一〇

海軍

243



鬼船 三〇〇名 八五砲 補設 一五〇名 三〇砲  
汽艇兼舟艇揚揚艇力

夕離 小艇一 内火艇一 カツタ一二 一回搭載量一人員ハ一〇名  
一艇トス一三砲 揚陸所要時間五時間

五月離 内火艇二 カツタ一二 一回搭載量一人員ハ一〇名一艇ト  
ス一四砲 揚陸所要時間六時間

夕月 内火艇一 カツタ一二 一回搭載量一人員ハ一〇名一艇トス  
一三砲 揚陸所要時間七時間

一回九輪船運送 小艇一 一回搭載量一人員ハ一〇名一艇トス一四  
砲 揚陸所要時間 三十時間

兼艇 小艇一 内火艇二 カツタ一二 一回搭載量一人員ハ一〇名  
一艇トス一四砲 揚陸所要時間六時間

補設 内火艇二 カツタ一二 一回搭載量一人員ハ一〇名一艇トス

第拾伍課

海軍 2

245



4F

第...  
人...

四 二二

受 譯  
始 信  
二二一九三  
二二四〇〇六

一 一 一 〇 〇 〇 〇

人 一 事 台

發信者

着信者、東京海軍通信隊

受報者、第三、第五各通信隊

機密 第二二一六四五番電

發 第四艦隊參謀長

宛 大本營海軍參謀部第一部長

通報 下下長官旗艦 聯合艦隊司令長官旗艦

大海機密第二二〇四八番電返

一、第四機隊司令部附、第四艦隊司令部附、變更第四艦隊ノ主體ト  
シテ存續現第四艦隊司令部附ハ追テ整理（大部分轉出定員表改正案

一四一四八 呂三A(五一三五K)四通

海 軍 (一)

第...  
十...  
第...

235



司馬

樂學



體具

第壹十五課

新編 皇朝 通志 卷之 一百一十五 兵考 兵制 兵備 兵防 兵教 兵刑 兵賞 兵罰 兵廢 兵興 兵變 兵亂 兵革 兵器 兵機 兵謀 兵術 兵法 兵略 兵政 兵教 兵刑 兵賞 兵罰 兵廢 兵興 兵變 兵亂 兵革 兵器 兵機 兵謀 兵術 兵法 兵略 兵政

大清通志 卷之 一百一十五 兵考 兵制 兵備 兵防 兵教 兵刑 兵賞 兵罰 兵廢 兵興 兵變 兵亂 兵革 兵器 兵機 兵謀 兵術 兵法 兵略 兵政

兵制

兵制 兵備 兵防 兵教 兵刑 兵賞 兵罰 兵廢 兵興 兵變 兵亂 兵革 兵器 兵機 兵謀 兵術 兵法 兵略 兵政

兵制 兵備 兵防 兵教 兵刑 兵賞 兵罰 兵廢 兵興 兵變 兵亂 兵革 兵器 兵機 兵謀 兵術 兵法 兵略 兵政 兵制 兵備 兵防 兵教 兵刑 兵賞 兵罰 兵廢 兵興 兵變 兵亂 兵革 兵器 兵機 兵謀 兵術 兵法 兵略 兵政

New Jersey

軍制

247





局長

課長

局員

天宮  
寺井  
寺井  
第...課

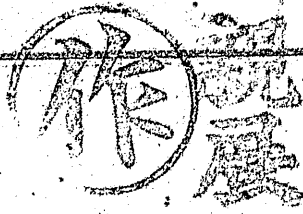
四二六

電話一八三〇八

電話一八四四五

電話一八四五六

電話一八四五六



- 支那方面...
- 支那方面...
- 支那方面...
- 支那方面...

支那方面...

支那方面...

支那方面...

海軍

人帳

課長

高野

花房

親

著

昭和

密通 三六二〇〇八番

5

發聯合無保參謀長  
當面情況判斷 左通

一列新

心我兵力配備現狀より推定

OH E 及書確保ハ當分奉案

1872  
1889  
1890  
1893  
1897

AA (5705) 2/4

海軍

3昭  
00  
14  
15  
13426  
13427  
13428  
13429  
13450  
特務

250



上期待シ難ク今後一週間ヲ出テ  
 大ニテ敵ハ本航空基地ヲ整備使  
 用スルニ至ルベシ  
 敵ハ航空兵力ヲO H Eニ前進  
 させ、  
 次期進攻作戦ヲサトルニ  
 T C G<sup>トビク島</sup>ニ進出スルハ P T Nニ指向  
 スルニ算最大ナリ  
 敵ハ情命ノ間並攻撃ヲO H<sup>ニキミア</sup>北  
 岸ニ若ヒニ進メテ他方面ニ對ス

第百信課

海

軍

三  
次  
心

攻喜ハ実施スルトスルモ 帝制ノ程  
 度ニ止ルベシ  
 ④ 予ハ正確保ハ「T E A」<sup>キーレンク</sup> 湾防衛上  
 絶対必要ナルモ「サル」<sup>カ</sup> 以來カ概本  
 敵ノ制空權下ニ敗シ居ル今日  
 我航空兵力ノ現状ヲ以テシテハ  
 遺憾ナラシ即急ニ之ガ回復ヲ企  
 圖スルヲ固難ナリ

第十信課

海 3軍

252

(一) 差遣リマール迄「T C G」地区ノ防衛ヲ  
 急速ニ強化スルニ要アリ視守備兵力  
 ノ不足方面<sup>(轉用)</sup>此ノ際行フベキアタ  
 (現正「カ」止駐屯軍、一部兵力ヲ  
 以テ速ニ「カ」攻奪ヲ策スルモ兵力  
 寡少推定困難ニシテ敵ノ制空權  
 下作戰成功期待ニ難シ)

(二) 次期敵機動部隊ノ P D 南東海

第三十課

海軍



面來夜ニ備アリ目途トシ五月十五  
 日續送ニ於海軍共力ヲ西カロクン釋  
 島及西都ニ上テテ面ニ展開業中  
 敵主力ヲ捕獲後出陣スルニ態勢ニ在  
 在ニシテ  
 四前項遊藝作戲ノ成果ニ出テ  
 得ルガハ正々奪回作戲ヲ策  
 入

一稿

第十信課

海軍







待機セシノ取置隊は進時海上ニ出陣取置隊ノ陣投ヲ無難時等

三第二團取置隊「メカホ」ヨリ「メ子ウ」取置隊無約一〇隻ヲ北緯五

一度二〇分 東經一六一度三〇分ヲ中心トスル南北線上ノ間隔一〇

度ノ二間隔不時取置隊員取置ノ本期間在ノ間隔ヲ以テ取置隊員ニ於

タル所取置隊員ニ伏フ

取置隊員「メウヒ」ヨリ「メ子ウ」迄九七式飛行艇一機ノ整備員若干

ノヲ取置隊員持機セシム

取置隊員兵力ノ行動ハ詳細ニ記シテハ本報直接之ヲ告ス

取置隊員 作戦關係者情報取置隊員タル為ニ記シ

第七  
課

海軍

27



KAT

緊要

人事

四二八

受領二三三八  
試了〇二四一〇

試了〇二四一〇

(一四四三五)

作

暗親展

作

報

聯合艦隊戸中副太平洋方面水隊戸

大海之水隊戸南西方面水隊戸六三航戦

暗號軍機

機密第一二八九二八電

機動艦隊參謀長

大海機密第一三五五番電 閣下 當無隊M丁丁進進

直後、要補給量四五〇〇噸(某班航空戰隊第三航隊)

戰隊、分ヲ念ハ、内巡洋艦駆逐艦ハB下日航補給

急送スルモ二六〇〇噸ハ油槽艦ニ依ラサルヲ得サル處五月十

日過ニハ鶴見清洋丸計一七〇〇噸ニ過ヤ大爾余補給

船二十五日以後ニラカバ見込タマフ付當水隊進出ハ二十日

ト豫定致度作業自來モアリ右様度ハ至急教令

一八二九七 呂四A (四三八七五K) 十通

海軍

電信課

258



3F

人事

第二九 〇〇〇一六 第二一三〇三〇 二二四七六三三



第一機動隊司令部

聯合艦隊司令部・中支太平洋方面艦隊司令部・三島艦隊司令部

第二機動隊司令部 第二八二〇〇一七番 二分、十二

第二機動隊司令部

第一機動隊司令部

第三機動隊司令部

中支太平洋方面艦隊司令部 聯合艦隊司令部

第二機動隊司令部 第三機動隊司令部 聯合艦隊司令部 中支太平洋方面艦隊司令部

秋期第六卷一編月八五月中旬ニアラザレバ出務不能ニ決定セラレ

一八三二六・一八三一九 臣國A 一B 一C 海 年

259

アル艦隊方トシテハ最少艦艇共戦艦力大ナル艦隊因襲ノ増強ヲ  
待望

二回其艦隊ノ指揮ニ懸シ指示ヲ待望

艦方トシテハ同艦隊指揮官ニ就取用命令 第三艦隊ニ就戦艦隊  
艦隊六隻 第二艦隊三隻艦隊 送艦四隻トシ船中補給隊員ニ於テ所要  
ノ訓練ヲ實施スルコトニ計畫シアリ一週日關係各艦隊ト打合セ略シ  
三統帥ニ懸シテハ第一案ニ因方第二案ニ東方ト決定シアル艦隊司令艦  
ノ意見アラハ承知致度  
第三案ヨリノ練習艦隊情況一聞備一知ラサレ度。

海軍 2

260







(5) 各該地三級及四級差役兵銀等三項檢點簿及廢棄鈔票及又歷續編送

軍ノ事務

(五) 軍務

(1) 陸軍ノ九一編下等ノ(1) 陸軍部ノ(2) 三番三番(3) 二十五番連(七)

・七番連ノ陸軍部(1) 三番一陸軍部(2) 三番二陸軍部(3) 陸軍部

ノ(1) 陸軍部(2) 三番一陸軍部(3) 三番二陸軍部(4) 陸軍部(5) 陸軍部

ノ(1) 陸軍部(2) 三番一陸軍部(3) 三番二陸軍部(4) 陸軍部(5) 陸軍部

ノ(1) 陸軍部(2) 三番一陸軍部(3) 三番二陸軍部(4) 陸軍部(5) 陸軍部

ノ(1) 陸軍部(2) 三番一陸軍部(3) 三番二陸軍部(4) 陸軍部(5) 陸軍部

九〇

ノ(1) 陸軍部(2) 三番一陸軍部(3) 三番二陸軍部(4) 陸軍部(5) 陸軍部

〇六〇

海軍

283



